

(特非) NPO法人 ワイルドライフ・プロミシング

ケニア、マサイマラ国立保護区周辺、 ゴイラレ (Nkoilare) 地域の 野生動物保全活動

つづける助成

1年目

実践

野生動物保全に関わる意識の普及度 20%

地域住民に向けワークショップ開催 4回

今年度計画の達成度 50%

目標達成度 30%



旅行者を相手にしたエコツーリズムの実施

活動内容と成果

地域住民のマサイと密接に関わり、青年グループのリーダーや、野生動物に興味のある人々を中心にパトロールチームを形成しトレーニングを実施。同時にエコツーリズムのノウハウを旅行者に実践することで習得させた。結果、英語を話せるマサイの青年が主となり、エコツーリズムを発展させ、地域住民が旅行者から直接収入を得る機会が増加した。また、家畜と野生動物の棲み分け (Zoning) の重要性を地域住民に浸透させ、野生動物保全の足掛りを構築。動物の足跡の全観察回数のうち、食肉目の足跡が観察される回数が50%上昇した。



水場のセンサーカメラに映ったアフリカライオン

課題

対象地域において、野生動物と家畜が居住地を共有することで、野生動物の生息地や水場が減少し、結果的に野生動物の個体数が減少している現状がある。

目標

対象地域において、野生動物と家畜の棲み分け (Zoning) を根付かせ、地域住民のマサイの人々が自発的にエコツーリズムに関わることで、野生動物との共存を目指す。



今後の
展望

マサイの人々が自発的に野生動物保全に取組み、また、野生動物を保全することからエコツーリズムなどを通して収入を得るシステムの構築を目指してプロジェクトを展開していく。

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

センサーカメラの設置が、盗難や大雨のため予定通りに進まず、データ収集が困難であった。

■ 工夫した点

マサイの人々を実際の旅行者と対面させ、エコツーリズムを実施させたことで、彼らが話術や知識など積極的に取得するに至った。

| 活動地域 |  ケニア

〒063-0033
北海道札幌市西区西野3条7丁目5-15
<http://www.wildlife-promising.org/>

